



クラブ会報

URL <http://www.nanto-rc.jp>

E-mail office@nanto-rc.jp

例会日/火曜日 12:30点鐘 例会場/富山銀行福光支店4階 ◆事務局/富山県南砺市福光7336-4 ぶくみつ光房内 ☎ 0763-53-1333 FAX 53-1334

撮影 写真同好会 中田 修会員



アキアカネ

◆幹事報告

山田 孝幹事

- ①G事務所より、「手続要覧2019年英語版出版の案内と日本語版の定款・細則」について。1冊10ドル。日本語版12月
- ②G事務所より、「行動規範の改定」案内。
- ③G事務所より、「19-20テーマネクタイキャンペーン」お知らせ。
- ④G事務所より、「2019-20年度ロータリー・リーダーシップ研究(RLI)パートⅢ」開催の案内。12/21 9:30～金沢勤労者プラザ 5,000円
- ⑤2020年国際ロータリー一年次大会の案内
- ⑥小矢部中、新湊中央、高岡RCの各RCより例会変更の案内
以上受領

◆委員会など関連事項報告

片山浩一副委員長

★友好交流委員会
富士見クラブの45周年記念祝賀訪問には、新幹線ではなくて、貸切バスを依頼しました。尚、一泊せず日帰りです。

第2525回例会 令和元年10月29日(火) 曇

- ◆点 鐘 12:30 川合声一会長
- ◆司 会 吉田 実SAA
- ◆ソング 「我等の生業」
- ◆会長の時間 川合声一会長



鈴木大拙館

皆さん、こんにちは。2週間ぶりの例会です。この期間様々な出来事が起こりました。とりわけ、台風19号による甚大な被害を受けた関東・南東北エリアでは次々に台風が列島に接近、それらが原因で、大雨をもたらし、せつかく、片づけを終えた家が再び、浸水する、車で避難しようとした方が大水で命を奪われる、という痛ましい事故があちこちで発生。水害列島と外国のマスコミでも報じられています。当地区では幸い、被害にはあっていませんが、関東・東北の広範囲の水害でもあり、ロータリー上げての支援活動が具体的に進められると思います。その際にはよろしくお願ひしたいと思います。

先般、城端で行われたローカルサミットでも当初、参加予定の前の南相馬市長の桜井さんも参加できない旨のメッセージを寄せてこられました。皆さんも親戚、友人の方々や同業の会社にも被害が及び、それぞれに対応、お見舞いをされたと思います。改めて、お見舞い申し上げます。

ラグビーワールドカップもいよいよ、佳境に入り、いよいよ今週末には決勝戦南アフリカとイングランド戦。決勝リーグへ進出した我がさくらジャージ、素晴らしい戦いぶりでした。テレビ観戦でしたが、決勝リーグでの各強豪の戦いぶり素晴らしいものがありました。

私事です、砺波高校110周年記念行事に参加、そこで金沢の鈴木大拙館の木村宣彰さんと会い、世界最大の旅行サイト、トリップアドバイザーの今年の日本の美術館・博物館ランキングで第3位にランク入り、サイト上では建築美に加え、館内での思索をめぐらせる体験を魅力として挙げる口コミが数多く寄せられ、大拙の目指した精神文化が高い評価を得ている。とりわけ欧米系の外国人の来館者が多く、館内で瞑想に浸る姿など来館者の4分の1が外国人。

このランキングで私が一番気になったのは博物館部門の1・2位が太平洋戦争の歴史を伝える知覧特攻平和会館、昨年は13位。長崎原爆資料館とのことです。とりわけ、知覧の平和会館を訪ねる時、戦後の日本の平和の礎を築かれた、多くの戦争犠牲者、当時のことで、父母、家族を愛し、国を思い命をささげた英霊への深い感謝を思います。

天皇陛下が内外に即位を宣言された即位礼正殿の儀において、宣言文のなかで「国民の幸せと世界の平和を常に願ひ」とおっしゃられたように、平和の尊さを述べられたことは感無量の思ひです。

☆ ニコニコボックス 10/29 山田喜代美委員長

- 川合君 この二週間、色々な出来事がありました。かくれファンでしたが、八千草薫さんが永眠されました。清楚な笑顔が印象的でした。
- 木勢君 欠席が続きました。ゴルフでの雨も多くなってきました。
- 尾山君 秋の気配を感じるこのごろ。
- 山田喜君 雨の日は眠い。気圧が低いのか。炭水化物の取り過ぎかな？ 天高く、キヨミ肥ゆる秋。
- 野村君 今夜は待ちに待った〇〇さんとの会食 (男です) 早退します。
- 高野君 今日は、卓話の順番が来ました。よろしく。
- 北島君 高野さんの卓話が楽しみです。
- 森悦君 今日は、肉の日です。夕食が楽しみです。
- 井沢君 久しぶりに、4階迄歩いて上がることが出来ました。
- 松本君 朝乃山が小結になりました。応援しよう。
- 大西君 寒くなって来ました。今年最後の行事のナメコ取り。1ヶ月間山に入ってます。
- 三吉君 昔のおじょうさん、何か書いといて。《山田喜代美、何か書いときます。》
- 牧君 中学校卒業以来の同級生に親睦会で会いましたが、昔と変わらんねといわれ、喜んでいいのか、悲しむべきか。
- 松村君 立山におそめの雪。今年も暖冬かな。
- 片山浩君 秋らしくなりました。
- 山田清君 長い間休んでおり、すみません。卓話楽しみにしております。
- 税光君 寒くなりました。皆さん身体に気をつけて過ごしましょう。
- 谷村修君 車19万km走り、シート汚れてきたので、セスキ(洗剤)で拭いたら白くなった (ややガビガビになったが)。
- 石崎和君 イチゴとタマネギの植えつけが忙しい。お金にはならないけど。
- 木村君 木本さんのおかげで、新しい干柿乾燥機が動く事が出来ます。ありがとうございました。当分はあしたから皮むきが始まります。
- 中田裕君 高野さん、卓話楽しみです。

本日のプログラム 11月5日(火) 第2526回
ロータリー財団セミナー
担当 R財団 松本敏博委員長



ロータリーの誕生

ロータリークラブは、20世紀にはいってまだ間もない1905年、米国イリノイ州シカゴの青年弁護士ポール・ハリスが「友情とビジネスを混ぜ合わせたら、友情もビジネスも増えるのではないか」というアイデアを基にして、3人の友人と語り合って発足させた。

ポールは、同業者間の親睦の難しさを痛感していたので、競争相手とならない友人の輪を作りだそうと、会員を一業種一人に制限しました。これがロータリーの職業分類制度の始まりです。これによって、他の会員から商売上の利益を得ることを目的として入会したような人でもクラブ内の温かい雰囲気にも包まれて、利益よりもっと満足できるもの、すなわち『親睦』を見いだす事が出来るようになりました。他の職業の会員と話し合い、友情を育てて互いに協力して地域が抱える色々な課題の解決を支援できるようになりました。

ロータリーの親睦は、単に会員同士が仲良くすると云うだけではなく、奉仕活動の基礎となるものでした。さらに、共に行う奉仕活動が一層親睦を深めることに成りますので、ロータリーは親睦と奉仕の融合の場となったのです。

この職業分類制度によって、会員は、クラブに対しては自己の職業の代表者という責務を負う事になり、また、ロータリアン以外の人に対しては、日常の仕事を通してロータリー精神を普及する責務を負う事になりました。この二つの責務が職業奉仕の基礎となったのです。…(2660地区研修委員会)引用

日本のロータリー誕生

1920年、東京ロータリークラブが出来たのが最初です。米山梅吉。福島喜三次らの努力により10月20日創立総会を開く。初代会長に米山、幹事に福島が選出される。

日本のロータリークラブは来年で100周年を迎えます。

なぜ、東京ロータリークラブが出来たのか。

日本人の最初のロータリアンは、福島喜三次氏です。(1881～1946) (三井物産棉華部ダラス支部1916年12月より開設。その後、福島が最高責任者に。) 三井物産に勤め、1905年渡米、1915 (6) 年にダラスRCに入会しています。とても熱心な会員だったようです。1918年元旦に訪米中の米山梅吉が福島の自宅を訪問していました。このときの出会いにより米山がロータリーの事を知ったのではないかとされています。

[渡米使節団] 米山は、この時49才、政府特派財政経済委員として、渡米していました。三井銀行の常務取締役の職でした。1914年に「新隠居論」を著作して、公共の事業に尽くす事を進め、自ら実践していた。この事とロータリーの奉仕の精神が共鳴したのか? 1919年12月、福島がダラスロータリークラブを辞めて帰国する事になる。この時ダラスクラブ会員より日本にもロータリークラブを作るように勧められる。そして1920年2月28日付けで、シカゴのロータリークラブ国際連合会から、特別代表を委託される。福島この時38才で、三井物産の



米山梅吉



福島喜三次

◆出席報告

久恵龍三委員長

会員数	10月29日出席率	10月8日の修正
49 (免除0)	63.32% (欠18)	75.51% (欠12メーク3)

メキャップ: 大西正芳君、澤田喜朗君、谷村修基君

副支配人で、勤め人であった。創立のメンバーを集めるには、大変だと考えたのであろう、ダラスで会った米山にその実質的な全権を託す。

この事が、国際ロータリー事務総長、チェスリー・ペリーに報告されている。

こうして米山は、大正9年8月自らが選定したであろう18名を集めて、ロータリー創設の説明をする。9月1日には設立準備委員会を開き10月20日創立総会を開く。ここに日本における第1号。東京ロータリークラブが誕生した。



チェスリー・ペリー

東京ロータリークラブの誕生

東京ロータリークラブ(RC)は、米山梅吉と福島喜三次の出会いに始まる。

1918年1月、米山梅吉は、目賀田種太郎男爵を団長とする財政調査団に加わって渡米。テキサス州ダラスでダラスロータリークラブ会員の福島喜三次に会い、初めてロータリー運動に接し、大いに心を動かされる。帰国後、米山梅吉は2年余、ロータリー精神と組織の研究に努めた。

当時の日本は、第一次大戦に連合国側として参戦。一時的な景気に沸いたものの、戦後は恐慌に襲われ、不景気のなかで農民運動や初のメーデーが行われるなど揺れ動いていた。ロータリー精神が容易に受け入れられるような状況ではなかったが、米山梅吉の熱意は少しも衰えなかった。1920年1月には福島喜三次も帰国。在日米国人実業家ウオルター＝ジョンストン(W.L.Johnstone)の応援を得て、具体的な準備作業が進められた。設立準備会を開いたのは9月1日である。

設立総会は10月20日、銀行クラブにジョンストンと賛同の有志14名(チャーターメンバー24名中)を集めて開かれた。総会では初代会長に米山を、幹事に福島、理事に伊東米次郎、樺山愛輔、小野英次郎を選出。国際ロータリー(当時はロータリー国際連合会と称していた)のシカゴ本部に加盟申込書を送り、翌年4月承認された。

はじめは会員の選考も厳格で、クラブの記録や通信にも英文が使われた。しかし例会への出席状況は、あまりはかばかしくなかったようである。

東京RCは国際ロータリーにより特別代表に任命された福島喜三次とW.Johnstone並びに米山梅吉の尽力により、日本で最初に創立された、国際ロータリー直轄のクラブである。

創立時の記録にスポンサークラブの存在は記されていない。

【関東大震災】

当初、会員は定款細則などに対する関心がうすく、出席も悪かったのでクラブの存続も危ぶまれるほどであった。1923年9月1日午前11時58分の関東大震災で東京、横浜は壊滅したとの報が全世界に伝わった。直ちに国際ロータリーからは会長ガイ・ガンデカーの見舞電報とともに2万5,000ドルが大坂RCを経て送られてきたのを始め、シカゴクラブが1,500ドル、サンフランシスコ、ニューヨークのクラブが各1,000ドル、その他、米、英・加など各国の503におよぶクラブから、続々義援金や救済物資が送られてきてその額も8万9,000ドルに達した。当然、わが国のロータリアンは感謝の念とともに、ロータリーへの関心を高めたのであった。駐日米大使ウッズCyrus E. Woodsの機宜の処置によって、東洋にあった米艦隊が食料救済物資を積んで地震後僅か60時間で横浜に着き、米政府も赤十字と共にマッコイ少将F.R.McCoyを派遣して救援したので日本国民は深く感激した。

- ・各地には相前後して
- *大阪RC…1922.11 *神戸RC…1924.8 *名古屋1925.4
- *京都RC…1925.9 *横浜RC…1927.10 と誕生。

以上(2660地区ロータリー百科事典、R日本60年史)引用
(今回の会報担当・牧千収)

次回の予定 11月12日(火) 第2527回
卓話 担当 会員 榊 祐人君